

## 安全管理方法

### 鉄道安全会議

社長、安全統括管理者、鉄道担当役員、鉄道企画部長で構成され、月1回開催しています。鉄道業の安全マネジメント態勢を適切に運営することを目的として、鉄道業における安全に関する事項の報告、審議を行うものです。

### 鉄道保安総合委員会

安全統括管理者を委員長とし、鉄道部門の部長クラスで構成され、原則、毎週開催しています。鉄道業の安全確保、事業計画および営業政策を企画、立案するとともに、事故、インシデント、ヒヤリハット情報などの分析と事故防止対策の審議を行っています。

### 保安監査

鉄道部門の各部署に対して約1ヵ月間かけて、毎年実施しています。



▲保安監査

鉄道の安全が確実に確保されているか、旅客サービスが適正に行われているかを、現場調査・書類調査・ヒアリングなどを通じてチェックします。監査結果は、社長・安全統括管理者・監査役・鉄道保安総合委員会に報告します。

### 安全マネジメント監査

保安監査と同時に安全マネジメント監査も実施しています。

安全管理規程に則り、安全マネジメント態勢が適切に確立され、実施され、維持され、機能しているかを確認します。監査報告を受けた安全統括管理者は、見直しが必要な事項については、鉄道保安総合委員会で審議し改善を図ります。

### 運輸安全マネジメント評価

国土交通省が実施するもので、鉄道事業者が自ら構築した安全マネジメント態勢を評価し助言をするものです。平成20年度は9月に実施されました。総評として、下記の3項目について評価を受けました。

- ① 経営トップのリーダーシップの発揮
- ② 経営管理部門を対象とした安全管理体制にかかわる内部監査の仕組みの確立
- ③ 安全管理体制の見直しの仕組みの確立



▲運輸安全マネジメント評価

### 鉄道安全大会

運輸安全マネジメント体制における管理職以上の教育の一環として、平成21年3月に実施しました。約120名を対象に各担当部長などから「運輸安全マネジメント制度について」「当社の過去の重大事故紹介」「各部門安全重点施策発表」の報告を行ったあと、JR西日本安全研究所所長から「ヒューマンエラーを少しでも減らすために」と題した特別講演を受けました。最後に参加した役員・社員全員で安全基本方針を唱和し、安全の誓いを新たにしました。



▲鉄道安全大会

### 安全対策の歴史

昭和42年から現在まで約40年以上にわたり、鉄道担当の筆頭役員を委員長として、運転保安に関する審議を行う委員会を原則毎週開催して、社内的な横断管理に努めてきました。

また、安全マネジメントには不可欠であるPDCAサイクルのうち、チェック機能を強化するため、昭和50年より独立した専門部署を設置し、運転保安および旅客サービスに関する内部監査(保安監査)を実施してきました。

#### ■安全マネジメントのPDCAサイクル

